

教育目標：豊かな心をもち、実践しようと努力する子
～かしこい子【知】 やさしい子【徳】 げんきな子【体】～



愛東だより

重点目標：なりたい自分に向かって、挑戦し続ける子の育成
キャッチフレーズ：なりたい自分に向かって、一歩踏み出そう

令和7年度
旭川市立愛宕東小学校
学校だより 第8号



令和7年11月28日(金)
発行

思いやりしぐさ

校長 清水 忠 明



私が小学生だった頃、教室の暖房は石炭ストーブでした。その丸みを帯びた形がだるまを思わせることから、「だるまストーブ」と呼ばれていました。寒い朝、登校すると自然とその周りに子どもたちが集まり、昨日見たテレビの話や中休みに何をして遊ぶかなど、笑顔で語り合う場となっていました。寒さの中、次々と登校する友達にも「ここ、あったかいよ。おいで」と声をかけ、お互い場所を譲り合うなど、友達のことを思うやさしい姿がありました。そんな光景は、心も体も温まる、やさしさに満ちたひとときでした。ただ、石炭ストーブには一つだけ大変なことがありました。それは、日直の仕事として、下校前に石炭小屋へ行き、バケツいっぱい石炭を入れて教室まで運ぶことです。距離は数十メートルでしたが、低学年の私には何百メートルにも感じ、何度も休みながら運んだものです。そんな時、通りがかりの高学年のお兄さんやお姉さんが、さりげなく手伝ってくれたことを今でもよく覚えています。そのちょっとした思いやりが、当時の生活を楽しく、豊かなものにしてくれていたのだと、懐かしく思い出しています。

学校では、10月6日(月)～17日(金)までの2週間、『思いやり週間』の取組を行いました。「思いやりしぐさ10」の中から、各学級で重点項目を決めて実践してきました。「あいさつ」や「やさしい言葉づかい」といった直接的な思いやりの行動だけでなく、「ゴミを拾う」や「机を離れる時には椅子をしまう」など、間接的な行動にも目を向けています。この取組を通して、子どもたちには、ちょっとした自分の行いや言葉が、周囲の人の生活を楽しく豊かにすること、誰かの行いや言葉で自分自身が楽しく安心して過ごせていることに気付き、思いやりの気持ちをもって行動できる子どもになってほしいと考えています。重点的な取組は、終わりますが、日々の中でのさりげない思いやりしぐさが、みんなの気持ちを明るくし、楽しい学校生活につながるよう、これからも指導を続けていきます。

愛宕東小の「思いやりしぐさ」10

- 1 ゴミが落ちていたら、ひろおう。
- 2 玄関に入る時は、くつ底のドロを落とそう。
- 3 水道の蛇口は下に向けよう。
- 4 トイレを汚さないように使おう。
- 5 本だの本は、そろえて入れよう。
- 6 机からはなれる時には、イスをしまおう。
- 7 相手の話を、最後まで聞こう。
- 8 授業中、ろうかはしずかに移動しよう。
- 9 伝わる声で、あいさつをしよう。
- 10 やさしい言葉をつかおう。



今日は10月に取り組んだ思いやり週間について少しだけお話しします。思いやり週間は、「思いやりしぐさ10」の中から、各学級で特にがんばることを決めて取り組んできました。ある学年の振り返りでは、「椅子をしまおうと通りやすくなったよかった」「友達が本棚をそろえてくれたので、気持ちよく本を読めました」「やさしい言葉をいつもよりたくさん使うと学校での生活が楽しくなりました」と、友達の思いやりに気づいた人、自分の行動を振り返って思いやりのよさを感じた人など、いろいろな気づきがありました。「思いやりしぐさ」とは、相手の気持ちを考えて行動することです。もっとというと、思いやりを受け取った人が、うれしい、安心する、人に大切にされていると思う、元気が出るような行動だと校長先生は思っています。今回、「思いやりしぐさ10」でしたが、思いやりしぐさは、まだまだたくさんあると思います。何かの機会に教室でもクラスの思いやりしぐさをみんなで考えてみてほしいと思います。

最後に、先日、大雪が降った次の朝、学校の前の道路がつるつるで滑りやすくなっていた時、ある友達が「校長先生、そこ滑るから気をつけて」とやさしく声をかけてくれました。校長先生は、とってもうれしい気持ちになり、校長先生もそこを通る人に「滑るから気をつけて」と声をかけることができました。校長先生は、その日一日、楽しい気持ちで過ごすことができました。ちょっとした「思いやりしぐさ」で生活が楽しく、豊かになります。これからも「思いやりの気持ち」が教室に、そして学校中にあふれてほしいと願っています。

* 11月5日(水) 校長講話より一部抜粋

教科担任制の取組から～様々な大人と関わって学ぶことを大切に～

本校では、昨年度から「学年内教科担任制」を導入しています。「学年内教科担任制」とは、専科教員が配置されている外国語・外国語活動や算数の少人数指導、3年生以上の書写に加え、社会や理科、体育、音楽、家庭科、図工、生活科、総合的な学習の時間等を同学年の他クラスの担任等が指導することです。

ねらいとしては、

- ① 担任だけではなく、その学年に関わる教職員全員で子どもたちを見守り育てること。
- ② 様々な教職員と関わらせることで社会性を育てること。
- ③ 教科等の学習指導の充実を図ること。
- ④ 近い将来導入される高学年の教科担任制に備えること。

などです。昨年度から少しずつ取組を進めてきており、7月に行った教育活動に関する保護者アンケートでは、「お子さんは、外国語活動・外国語の専科指導（3年生以上）、算数の少人数指導、教科担任制による指導を効果的だと感じていると思いますか。」の項目において89%の保護者の方から肯定的な回答をいただいております。（児童アンケートでは肯定的な回答が88%でした。）

各学年の取組の様子等については、これまで同様学年通信等でお知らせするとともに、11月に行った教育活動に関する保護者アンケートの結果等も学校だよりでお伝えする予定です。

学校敷地内への車両の乗り入れについて～車両と児童の接触事故防止のために～

冬期間は、降雪による学校施設内の除雪等に伴い、車両が動ける範囲が狭くなるばかりでなく、車両同士がすれ違うこともままならない状態となります。特に、児童の登下校の時間帯は、歩道上や児童玄関前で児童が密になってしまい、児童の視界が狭まることや道路での転倒なども想定されるため、交通事故防止に向けた万全の注意と事前の対策が必要となります。

車両と児童の接触事故防止のため、特に、次の3点についてご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 登下校時に、原則として、学校敷地内への車両の乗り入れを禁止しております。
- 2 校門前道路など学校周辺の道路での駐停車も控えるようお願いしています。
- 3 体調不良やけがなどに伴う遅刻・早退時の送迎等により、やむを得ず、学校敷地内に車両を乗り入れる場合には、最徐行を徹底するようにお願いしています。

※放課後児童クラブのお迎えなどにより、学校敷地内に車両を乗り入れる場合もこれまで同様に最徐行を徹底してください。

※学校敷地内に車両を乗り入れている場合、教職員がお子さんの名前や理由等を伺うなどお声掛けすることがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



P T A広報紙コンクールについて

第47回全国小・中学校広報紙コンクールにおいて、全国2076校の応募の中から本校のPTA広報部が作成した広報誌「ふれあい」が奨励賞を受賞しました。

ここ数年、広報部では、全道PTA広報紙コンクールにおいて、北海道知事賞、北海道新聞社賞、北海道小学校校長会賞、審査員特別賞などを受賞しており、全国コンクールでの受賞は昨年に続き2回目です。

広報部では、毎年5月と12月の年2回、広報誌を発行し、学校行事やPTA活動の様子を伝えてきており、その発行に創意と工夫を重ねてきたことが認められたようです。

広報部の皆さん、おめでとうございます。次号の発行も楽しみにしています。



12月の主な行事予定

- 1日（月）：街頭指導
- 2日（火）：参観日（4・6年）、PTA学年行事（6年）
- 3日（水）：参観日（1・2年）、PTA学年行事（1年）
- 4日（木）：参観日（3・5年）、PTA学年行事（5年）
読み聞かせ（6年）
- 10日（水）：朝会⑤、スクールカウンセラー来校日
- 12日（金）：外国語活動サポーター来校日
- 15日（月）：諸費引落日⑧
- 17日（水）：冬休み図書貸出（1・2年）
- 18日（木）：冬休み図書貸出（3・4年）
- 19日（金）：冬休み図書貸出（5・6年）
- 25日（木）：終業式（給食なし）
- 26日（金）：冬季休業（1月14日まで）
- 29日（月）：年末の休日（学校閉庁日）
- 30日（火）：年末の休日（学校閉庁日）
- 31日（水）：年末の休日（学校閉庁日）

冬季休業は、
12月26日（金）～1月14日（水）
の20日間です。